

まえがき

近年、日本は地球温暖化に伴う異常気象、オゾン層の破壊、大気汚染など、地球規模での環境問題に直面しており、私たちの身近な環境にも大きな影響を及ぼしつつあります。

中でも地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性の減少、廃棄物問題等は、自然の生態系に大きな影響を及ぼすだけでなく、人類の生存基盤を脅かす深刻な問題であり、早急な対策が求められています。

本県は、「日本のひなた宮崎県」というキャッチフレーズが示すとおり、全国有数の温暖な気候のもと、豊かな森林や水資源、さらにはそこで育まれる多様な動植物など、素晴らしい自然環境に恵まれています。

一方で、地球温暖化に向けた適応策や廃棄物の適正処理の推進、自然への環境負荷の低減や環境教育の推進など、新たな課題も抱えています。加えて、経済活動の拡大やライフスタイルの多様化等により、一般廃棄物のリサイクル率の低迷や、温室効果ガス排出量の増加など、日常生活における環境問題も依然として残されています。

こうした中、諸問題に対応するため、本県では平成28年3月に環境行政の基本方針である「宮崎県環境計画」を改定し、「日本のひなた『太陽と緑の国みやざき』の実現」という長期的な目標のもと、本県の恵まれた自然環境を守り、生かすことで、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。その中で、県民一人ひとりが環境への認識を深めて、環境保全活動を実践し、企業やNPO、行政機関等が一体となって行動していくことが極めて重要になります。

この白書は、平成27年度の本県における環境の状況と環境の保全に関して講じた施策の概要をまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様の環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組がさらに進むことを切に願っております。

平成29年1月

宮崎県知事 河野 俊嗣